

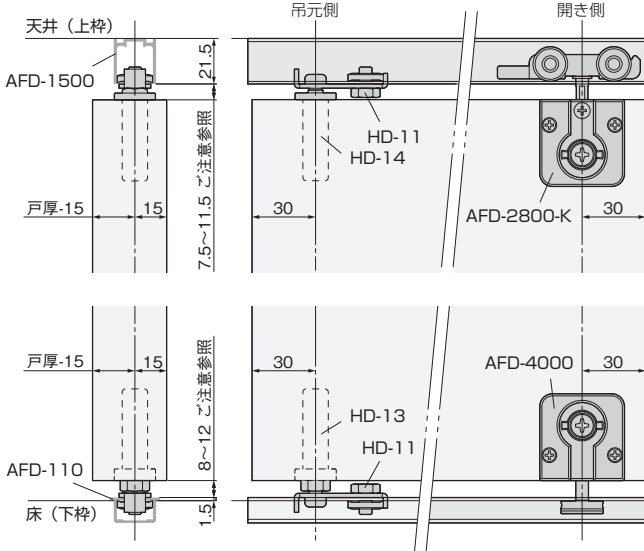
**使用条件**

◇折戸1組の総質量:AFD-2800-K 30kg以下/AFD-2800 20kg以下  
 ◇戸の厚さ:29mm以上 ◇折戸1組の戸幅:900mm以下  
 ※折戸1組とは2枚の戸板を丁番により接続した状態を示しています。  
 ■表記訂正 (20/12/15)  
 折戸を構成する戸の枚数は2枚に限ります。3枚以上の連結はできません。

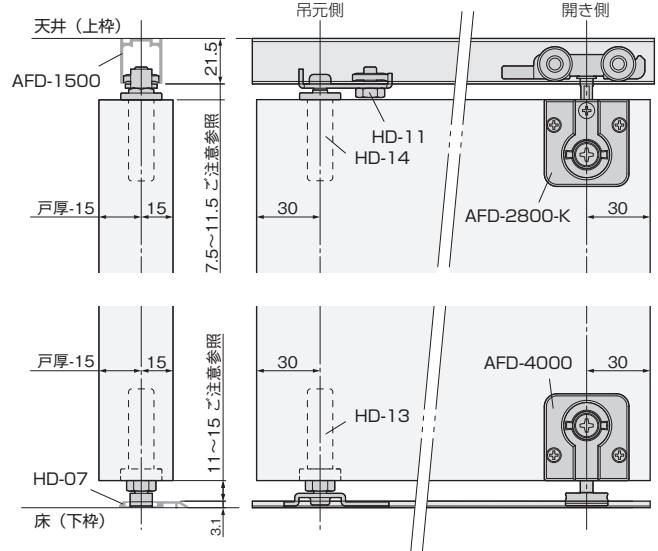
**設計ガイド**

**■金具の納まり参考図**

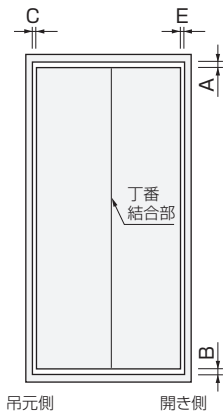
下部レールにAFD-110を使用の場合



下部レールにHD-07を使用の場合



**■戸と枠(またはレール)との必要すきま寸法**



●上下のすきま

A=上部レールと戸の間のすきま寸法=7.5~11.5  
 B=下部レールと戸の間のすきま寸法  
 AFD-110またはAFD-120の場合=8~12  
 HD-07の場合=11~15

●左右のすきま(折戸1組の場合)

C+E

使用丁番:HD-35

戸厚/戸幅	300	350	400	450
26	4.9	4.5	4.2	3.9
30	6.9	6.4	6.0	5.7
33	8.7	8.1	7.7	7.4
35	10.0	9.4	9.0	8.7
40	13.6	13	12.5	12.1

※以上の左右すきまは「上下の金具の軸位置=戸端から30mm」として算出しています。  
 ※丁番結合部のすきまは0mmの設定です。

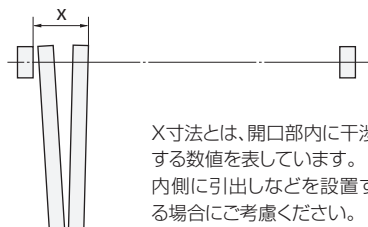
**ご注意**

上下のすきま寸法は、AとBの最小値どうしを足した寸法(AFD-110またはAFD-120を使用の場合=15.5mm、HD-07を使用の場合=18.5mm)、あるいは最大値どうしを足した寸法(AFD-110またはAFD-120を使用の場合=23.5mm、HD-07を使用の場合=26.5mm)に設定しますと、戸の上下調整ができませんのでご注意ください。  
 上下のすきま=Aの最小値+Bの最小値+調整に必要な寸法  
 (ただし、AFD-110またはAFD-120を使用の場合:  
 15.5mm<上下のすきま<23.5mm  
 HD-07を使用の場合:18.5mm<上下のすきま<26.5mm)  
 上下のすきま寸法は、次ページ施工ガイド通りの施工を基に設計しています。すきま寸法は、枠や床のたわみや、戸の反りの発生などを考慮のうえ、余裕のある寸法を設定してください。

C(吊元側すきま寸法)

戸厚	C
26	2.0
30	3.5
33	5.0
35	6.1
40	9.1

**■戸を開けた時のX寸法**



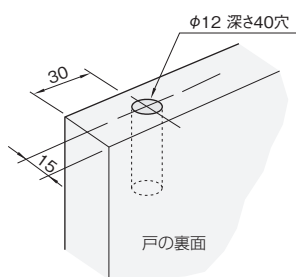
$X = 91\text{mm} + \text{戸厚} + \text{吊元側すきま寸法}$

X寸法とは、開口部内に干渉する数値を表しています。  
 内側に引出しなどを設置する場合にご考慮ください。

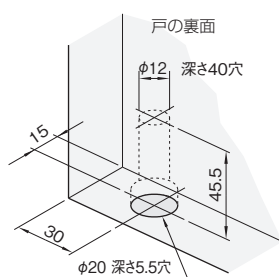
※上記計算式は「使用丁番HD-35」、「上下の金具の軸位置=戸端から30mm」として算出しています。

**■戸の加工寸法参考図**

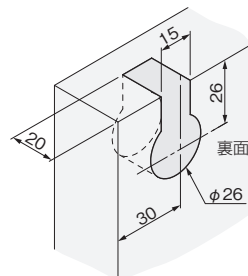
上部ピボット(HD-14)の取付け



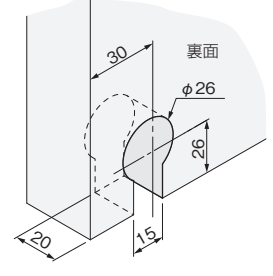
下部ピボット(HD-13)の取付け



上部吊り車(AFD-2800-K、AFD-2800)の取付け



下部ガイド(AFD-4000)の取付け



ドア錠

1

丁番

2

スライド  
丁番

3

開き戸  
金具

4

引戸錠

5

引戸  
金具

6

上吊式  
引戸金具

7

移動  
間仕切  
金具

8

折戸  
金具

9

室内用  
アルミ  
建具

10

取手・  
引手

11

スライド  
ワイヤー  
バスケット

12

収納・  
吊金具

13

その他  
家具金物

14

物干金具・  
諸金具

15

真鍮  
アンティーク

16

設計  
施工  
ガイド

会社案内